

三菱東京 UFJ 銀行が 法人顧客向け BizSTATION 外為サービスに Adobe PDF サーバソリューションを採用

紙による煩雑な外為依頼書作成作業の電子化により
顧客の作業負担の軽減を実現

【2006年4月26日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：ギャレット イルグ（Garrett J. Ilg）以下、アドビシステムズ）は本日、三菱東京 UFJ 銀行が 2006 年 3 月から運用を開始した法人顧客向け Web バンキングサービス BizSTATION のサポートツール「SmartDocuments 輸入版」に、アドビシステムズのサーバ製品 Adobe® LiveCycle™ Reader Extensions®を含む、Adobe® PDF サーバソリューションを採用したと発表しました。「SmartDocuments」は、外国為替取引用帳票の作成をサポートするツールです。三菱東京 UFJ 銀行では、2005 年 5 月より提供している Adobe PDF サーバソリューションを採用した「SmartDocuments 輸出版」が顧客より高い評価を得ており、すでに BizSTATION で輸出サービスを利用している顧客の約 9 割に利用されていることから、Adobe® Reader® と Adobe PDF を活用したソリューションを全面的に採用し、その適用業務範囲を輸入取引にまで拡大しました。

「SmartDocuments」は、従来まで顧客が紙で作成作業を行っていた輸出入取引に関わる外為依頼書を、Adobe PDF 形式の電子フォームを使用して、パソコン上で作成を可能にするサービスです。顧客は、紙で行っていた作業を電子文書で行うことができるだけでなく、三菱東京 UFJ 銀行の Web バンキングサービス BizSTATION を介したデータ取込みなどが可能です。

Adobe PDF サーバソリューションを活用した「SmartDocuments」の利点

- ・ Adobe LiveCycle Reader Extensions により、顧客は無償で配布されている Adobe Reader さえあれば、PDF フォームに記入した状態で保存や再編集が可能。これにより、反復的な取引の際に過去の記入内容を流用でき、新規作成の手間を大幅に削減
- ・ Adobe PDF 形式のフォーム機能を活用することにより、必須項目の入力チェックや、項目間の相関チェック、誤記入時のアラーム表示など、デジタルならではのビジネスロジックを埋め込むことが可能
- ・ 従来までの紙の依頼書様式と見た目に大きな差異が無いため、顧客は違和感無く Adobe PDF 形式のフォームに入力が可能

今回、Adobe Reader と Adobe PDF を活用したソリューションを採用した三菱東京 UFJ 銀行は、「弊行では、お客さまに対して満足度の高い独自のサービスをご提供することで、他行にはないさまざまな施策を打ち出しています。アドビの PDF サーバソリューションを活用した「SmartDocuments」は、デジタルならではの高い利便性を付加しながらも紙の使い勝手を損なわない完成度の高いサービスです。これによってお客さまのご負担を大幅に軽減することができ、お客さまとのお取引をより一層強固なものにできるものと期待しています」と述べています。

Adobe LiveCycle Reader Extensions に関する詳細情報は以下 URL をご参照下さい。

<http://www.adobe.co.jp/products/server/readerextensions/main.html>

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。